“置かれた場所で咲きなさい”

本年度北九州市民大学第1回講座で渡辺和子さん（ノートルダム清心学園理事長）のご講演を拝聴する機会がありました。

その要旨は、人はどんな境遇でも輝ける。花が咲けない時は下へ下へと根をのばしなさい。きっといつか笑える日が来ます。“置かれた場所で咲きなさい”、信頼は98%、あとの2%は相手が間違った時の許しのために取っておきなさい。といったお話でした。

私は“大切なことは信ずる心、もっと大切なことは許す心”と書かれたパン皿で朝食を摂ります。私に一番欠けている心を目で補う家内の工夫でしょうか、先の信頼とはのフレーズで納得しました。文化大学でのお話は俗世の私にとって心洗われるもので人生は“置かれた場所で咲きなさい”そのものでした。一読を!!

因みに渡辺和さんは二・二六事件で殺害された教育総監督渡辺錠太郎氏の二女、当時9才です。

平成25年4月30日

理事長 市丸 喜一郎

紹介書「置かれた場所で咲きなさい」

渡辺 和子著（幻冬舎）

（王子病院管理棟4階廊下本棚）

先般より理事長紹介図書は2ヶ月間ほど管理棟4階入り口廊下に設置した本棚に陳列しています。どなたでもノートにお名前と日付を記してお借りください。その後ははまゆう倶楽部へ配置します。